

全国の書店 & ネット書店にて発売中!

「あきらめなければ夢はかなう」  
—子どもたちに、そう伝えたい—  
聞こえない子を授かった聞こえる親が、  
ろう者と出会い  
日本手話を知り  
悲しみの底から立ち上がり  
私立学校を設立するまでのノンフィクション!  
汗と涙と笑いの感動ストーリー。

# 小指のおかあさん

著者 玉田さとみ

いま、少しだけ元気が欲しいあなたに贈ります。

「生まれたときから聞こえないから、聞こえないことがツツー。私たちは不自由でも不幸でもない」  
凜としたろう者の言葉に胸を打たれ、わが子を日本手話で育てる決心をしました。  
ところが、ろう学校で私たち親子を待っていたのは、昭和8年から手話を禁止し、  
聞こえない子を聞こえる者に近づける訓練の日々だったのです。

「ろう学校では、なぜ手話を使わないの?」「なぜ手話を使ってはいけないの?」

素朴な疑問の数々は不信感へと変わり、手話による教育を望む活動へと発展します。  
しかし70年以上続いた教育界の壁は厚く、やがて構造改革特区で学校設立を目指すことに。  
その道のりは、果てしない壁の連続…。

「ろう児が手話で学べる学校を創りたい」「ぼくたちの未来を応援してください」

ろう児と親たちの切実な呼びかけと行動が、多くの人の心に届き、その支援の輪によって壁が次々に壊れて行きます。集まった寄付金は総額約1億1千万円。

そしてついに、「手話を学び・手話で学ぶ」私立学校・明晴学園が誕生しました。

それは、ろう児とろう者と親、そして多くの支援者によって作られた  
日本一小さな夢の学校です。



ポプラ社 定価：1,365 円 (本体：1,300 円) ISBN：978-4-591-12265-5